TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

実を結ぶ信仰　コロサイ信徒の土台
すぐ全力で取り組もう　コロサイの信徒への手紙 1:3-8

2023 年 12 月 30 日 & 31 日
ジェシー・セザリオ　牧師

コロサイ 1:3-8「3 私たちは、いつもあなたがたのために祈り、私たちの主イエス・キリストの父なる神に感謝しています。4 キリスト・イエスにあるあなたがたの信仰と、すべての聖なる者たちに対してあなたがたが抱いている愛について、聞いたからです。5 その愛は、あなたがたのために天に蓄えられている希望に基づくものであり、あなたがたはすでにこの希望を、福音という真理の言葉を通して聞きました。6 あなたがたにもたらされたこの福音は、世界中至るところでそうであるように、あなたがたの間でも、神の恵みを聞いて真に理解した日から、実を結んで成長しています。7 あなたがたはこの福音を、私たちと同じ僕である愛するエパフラスから学びました。彼は、私たちのためにキリストに忠実に仕える者であり、8 あなたがたが霊によって抱いている愛を、私たちに知らせてくれた人でもあります。」

はじめに
今日から、コロサイの信徒への手紙の新しいシリーズをはじめます。シリーズタイトルは「実を結ぶ信仰-コロサイ信徒の土台」です。

コロサイの教会はエパフラスという人から始まりました。パウロがエペソで宣教活動をしていた時、エパフラスはパウロから福音を聞いたと考えられています。そして、福音を聞いた後、エパフラスは故郷に帰り、コロサイの人々に福音を伝えました。福音は受け入れられてコロサイに新しい教会が生まれました。

パウロが書いたこの新しい信徒への手紙は、信仰におけるクイック・ステップアップ・ガイドみたいなもので、キリストの信徒として、信仰の始まりから力強く成長し、実を結ぶクリスチャン生活を、どうすればより早く進めるかを説明しています。
この手紙は現在の私たちに対しても教えとなって、自分の信仰が今どのような状態なのか、何が妨げになっているか、どこに行こうとしているのかを示すわかりやすい道しるべとなります。

ヨハネ 10:10 の後半で、イエスはクリスチャンがいのちを得るため、しかも豊か（perissos）に得るために来た、と言います。これは、今あるよりさらに量も質もよくて、はるかに超えているという意味です。
神は、あなたにキリストにあって実を結んだ人生を送ってほしいのです。より豊かに、より素晴らしい、今あるものをはるかに超えた人生です。コロサイへの手紙はどうしたらそうなるのか、具体的なことを教えてくれます。
キリストにあって「実を結んだ」人生とはどんなものだと考えますか？

恵みを示す
3節でパウロは祈りの生活についての見解を与えています。

まず気づくのはパウロが祈る相手です。神であり主イエス・キリストの父です。主の御父以外には祈るべきではないと区別する人もいるかもしれません。結局イエスは弟子たちに、主の祈りとして御父へ祈るよう教えています。では、御父だけに祈るべきなのか、それともイエスに向かって祈っていいのか？
これに答えようとすると、別な疑問が生じます。その疑問とは――イエスは神なのか？

と言うのは、今見ている聖句では神とイエスは区別されているように見えるからです。イエスには自分の父としての神がいると。

「初めに言（ことば）があった。言は神と共にあった。言は神であった。」ヨハネ 1:1.

ヨハネ 10:30, イエスは言います。「私と父とは一つである。」
ヨハネ 12:49「なぜなら、私は自分勝手に語ったのではなく、私をお遣わしになった父ご自身が、私の言うべきこと、語るべきことをお命じになったからである。
ヨハネ 12:45「私を見る者は、私をお遣わしになった方を見るのである。」
ヨハネ 14:9-10 イエスは言いました。「…私を見た者は、父を見たのだ。…10 私が父の内におり、父が私の内におられる…」
だから聖書は言っています。何を言っているかよく見るように、イエスの内に御父がおられ、イエスの外に御父がおられる、だからイエスを見れば御父を見ることになり、イエスを聞けば御父を聞くことになると、悠久の過去にさかのぼったところから、イエスと御父は同等なのです。イエスは創造されたのではなく、神なのです。
ですから、祈るときは神へ祈れるし、御父へ祈れるし、それに/もしくは、イエスにも祈れます。どのお方でもいいのです。 ステファノは死ぬときに自分の霊を受けてくださいとイエスに祈りましたし、 パウロは肉のトゲを癒してほしいとイエスに祈りました。
よくわからなくても、心配いりません。聖霊が祈りを正しい神格のある相手に取り次いでくれます。パウロがローマ 8:26 で述べたとおりに。
パウロはコロサイの人々のために祈りながら感謝を捧げています。この手紙の後のほうでは、いくつか正しくできていないことを伝えるのですが、まずは彼らのしていることにどれほど感謝しているかを伝えることから始めます。
親として、私は子供が何か間違ったことをしていることを指摘するとき、一歩引いて考える必要がよくあります。というのも、問題を心配しすぎて、その時気づいた注意点だけでなく、「悠久の過去」（言いたいことがわかりますか）から洪水のように問題が頭の中に浮かんでくるのです。
こうなると、子供たちに伝えたい大事なポイントがわからなくなります。
もともと向上してほしくて話すのです。子供たちがよりよくなるよう励ましたいのです。でも、目的を忘れて批判から始めたら。文句ばかりで否定するようになり、励ますどころではありません。
励ましの根は謙虚であり、批判の根は傲慢です。
聖書における励ましは「勧め」とも言われ、ローマ 12 章にでてくる霊的賜物です。賜物であれば自然と祈りや愛、希望を与えることが含まれ、人を建て上げるものです。批判は人を打ちおろし、砕き、高慢な心がもとになる行為です。
批判をする前に、パウロがしたように、一歩引いてみましょう。相手の努力にどれほど感謝いているか考え、どれほど努力をしてきたかを考えましょう。実際、子供を相手にするとは限りませんが、批判している誰かに対してできることです。一歩引いて感謝する点をまず見つけましょう。

それから、変わってほしいと思う点について話します。すぐに、その話し方が塩で味付けされたものだとわかるでしょう、そして相手はあなたの言葉をより受け取りやすく、効果的に受け止めます。それ以上に、主に対して日々かかわりのある人達への感謝の祈り

を続けていると、霊的な状態がより健康になり喜びを見つけるでしょう。そうなれば、周りの人たちに対して自分を偽ったり否定的な考えを隠したりしなくて済むのです。
周りの人達へそうするところを想像してみてください。仕事関係の人、教会のファミリーである人。
あ、TBC の家族のために祈っていますよね？ 自分の教会のためにみんな祈り、教会の家族に感謝を捧げるべきです。
感謝を捧げることはあなたを変える、これは保証します。皆さんがよりずっと影響力のある友人、指導者、リーダー、伝道者になるのです。
人に感謝することは、時に難しいとしても、人の人生に肯定的な影響を与えるカギとなります。どうか心にとめておいてください。

信仰、愛、希望
ここから、パウロは有名な三大要素に言及します。信仰、愛、そして希望です。この三つはほかのパウロの手紙の中でも出てきます。

1コリント13:13 「それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残ります。その中で最も大いなるものは、愛です。」
コロサイ1:5－8 「5 その愛は、あなたがたのために天に蓄えられている希望に基づくものであり、あなたがたはすでにこの希望を、福音という真理の言葉を通して聞きました。 6 あなたがたにもたらされたこの福音は、世界中至るところでそうであるように、あなたがたの間でも、神の恵みを聞いて真に理解した日から、実を結んで成長しています。 7 あなたがたはこの福音を、私たちと同じ僕である愛するエパフラスから学びました。彼は、私たちのためにキリストに忠実に仕える者であり、 8 あなたがたが霊によって抱いている愛を、私たちに知らせてくれた人でもあります。」

パウロはコロサイの人達の信仰と信仰の結果を知らされたことに感謝しています。

彼らの新しい信仰の結果はどんなものでしょうか？ なにがパウロにその信仰を示したのでしょうか？
パウロはテサロニケの人達にも同じような考えを伝えていました。

1テサロニケ 4:8-10
「8 ですから、これらの命令を拒む者は、人を拒むのではなく、ご自分の聖霊をあなたがたに与えてくださる神を拒むことになるのです。 9 兄弟愛については、あなたがたに書く必要はありません。あなたがた自身、互いに愛し合うように神から教えられているからです。10 現にあなたがたは、マケドニア全土に住むすべてのきょうだいに対して、それを実行しています。しかし、きょうだいたち、なおいっそう励むように勧めます。」

いつも興味がわくことの中にアメリカが NASA の宇宙開発に多額の資金をかけることがあります。最初に月に行くことは何となく理解できます。私自身は月に行きたいとは思いません。
どうして続けているのでしょう？
月へのミッションのたびに科学者たちは最初に達成した以上のことをしようと刺激され意欲がわいてきますよね。そのたびに、さらに上を目指すための技術が向上します。自信と目標が高まります。科学技術が向上します。
次のミッションでは最初からやり直したりせず、より高く、より遠く、より速く、とすぐ全力で取り組みます。
ちなみにこの三語「より高く、より遠く、より速く」の元ネタは1959 年の NASA 宇宙飛行士ゴードン・クーパーの語で、キャプテン・マーベルじゃないですよ。
今では、NASA の努力の成果による様々な発明がたくさんあって、宇宙探査から生まれた、日常の役に立っているのはフリーズドライアイスクリームだけじゃないです。努力がカギです。事実、皆さんのポケットの中には、宇宙探査の努力の結果で発明されたものが山ほど入っています。

携帯のカメラをどれくらい使いますか……ありがとう、NASA。
ワイヤレスヘッドフォン……ありがとう、NASA。
傷のつきにくいガラス……GPS……ありがとう、NASA。

これらがなかったらどうですか？ 電話はまだ iPod のままですよ！
もし NASA が自分たちにあるもので満足してさらに上に目標を掲げず、ずっと停滞していたら、こういったものは手に入らなかったでしょう。
停滞するクリスチャンは悪魔の胸に飾られたバッジです。
停滞する教会は悪魔の家の壁にかかった額縁です。

なぜ？

こうしたクリスチャンは難破した船のような信仰を持っているというだけじゃないのです。もっとひどいのは、この人達がキリストのためと人々に働きかけるかもしれないことです。
パウロがコロサイとテサロニケの信徒たちに指摘していたことは、周囲の人達へ影響を与える大きな二つの方法をとっていることでした。
ひとつは御霊と歩んでいることです。御霊に導かれて歩む人は、御霊の実を生み出します。つまり、愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制です。どれも停滞したままではできないことです。
霊的であるとはどういう意味でしょうか？ 少し考えてください。どのようなものですか？
神のように霊的になる方法を知りたいですか？ 答えはあります、イエスのようになること。ヨハネ 13:34、私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。
これが御霊と歩むということです。互いに愛し合うことです。イエスより霊的になることはできません。
パウロが二つの教会について言及したもう一つの素晴らしい点は、信仰の分かち合いです。
彼らが信仰を分かち合っていたので、パウロは福音が受け取られていたことを確信しました。だからコロサイの教会は成長し、クリスチャンが増えていたのです。成長(増えること)は信仰のしるしです。
パウロが感銘を受けていたことが二つあり、彼らは受け取っていると思っていました。
どういうことでしょうか？ 「聖霊」です。
思い出してください ― コロサイ 1:8 で―御霊によって抱いている愛……愛とはどんなものですか？ そして 1 テサロニケ 4:8 で、ご自分の聖霊をあなたがたに与えてくださる神、とあります。
1 テサロニケ 4:9 「兄弟愛については、あなたがたに書く必要はありません。あなたがた自身、互いに愛し合うように神から教えられているからです。」

パウロはみんなが愛し合い分かち合っているのを見て、聖霊のうちに生きていることがわかったのです。

しかし、今よりもさらに豊かで、優れた、実を結んだ生活を得るためには、霊的な生活で行動しなければなりません。

誰もが日々最善を尽くそうとしていることはわかっています。そして、苦労しています。週末に教会に来ることだって、難しいこともあります。
いつも何かが私たちの邪魔をしているように見えます。どちらが正しいのでしょう。

人間はエデンの園での罪によって呪われています。アダムとエバが罪を犯したとき、創世記 3 章で神はこう宣言しました：

「あなたは妻の声に聞き従い 取って食べてはいけないと 命じておいた木から食べた。:

あなたのゆえに、土は呪われてしまった。
あなたは生涯にわたり
苦しんで食べ物を得ることになる。
土があなたのために生えさせるのは
茨とあざみである。
あなたはその野の草を食べる。
土から取られたあなたは土に帰るまで
額に汗して糧を得る。
あなたは塵だから、塵に帰る。」

イエス・キリストはキリストを信じる人々の罪を贖うために死にました。人間は罪への罰から逃れるだけではなく、神の御霊を内に持つこともできるようになりました。

神の御霊を持つ今は、この世の神のようにふるまうサタンの支配する大地から、実を刈り取る必要はありません。人は自ら実を結べるからです。

わかりますか、あの呪いは逆転したのです。

もっとも、皆さんもそう思うかはわかりません。特にご自分の日々を振り返った時ですね。

停滞を感じますか？ どこにも進めてないような？ イエスを知り物事は良くなっているのに、喜びも平安も、誠実さも、善意も、心にない感じですか？
神の約束が、自分の人生にはどうして実現しないのかと思ったことはありますか？

イエスは答えを与えています。「まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものはみな添えて与えられる。」 マタイ 6:33
神は、あらゆる恵みをあなたがたに満ち溢れさせることがおできになります。こうして、あなたがたは常にすべてのことに自足して、あらゆる善い業に満ち溢れる者となるのです。２コリント 9:8

神の祝福が自分のところに降り注いでほしいですか？

最初に何か行動を起こさなければ、次のラウンドでより高く、より遠く、より速く進む機会は得られないのです。

神は停滞しているクリスチャンを祝福するつもりはなく、停滞している教会も祝福しません。

神はマラキ書３章7－11でこう言います。「私に立ち帰れ。 そうすれば、私もあなたがたに立ち帰る ――万軍の主は言われる。
しかし、あなたがたは言う
『我々はどのように立ち帰ればよいのですか』と。
人が神を欺けるだろうか。
あなたがたは私を欺きながら
『どのようにあなたを欺きましたか』と言う。
それは、十分の一の献げ物と
献納物によってである。
あなたがたは甚だしく呪われている。
あなたがたは国民全体で、私を欺いている。
十分の一の献げ物をすべて貯蔵庫に運び入れ
私の家に食物があるようにせよ。
これによって、私を試してみよ
――万軍の主は言われる。
必ず、私はあなたがたのために天の窓を開き
祝福を限りなく注ぐであろう。
また、私はあなたがたのために
食い荒らすばったを叱りつけ
あなたがたのために
大地の実りを損なわせないように
あなたがたのために
畑のぶどうが不作とならないようにする
――万軍の主は言われる。」

TBC メンバーは一人一人が代表です。TBC メンバーは一人一人が神の国のトロフィーであり、神に栄光を持っていくのです。

「盗人が来るのは、盗んだり、屠ったり、滅ぼしたりするためにほかならない。私が来たのは、羊が命を得るため、しかも豊かに得るためである。」 ヨハネ 10:10

ここが、この世界の神とされるものと私たちの神、イエス・キリストとの違いです。

人間の本当の問題
まず、アダムとその妻が神の命令に背いたことで窮地に陥ったのは事実です。アダムもその愛しい妻エバも、この世の神の誘惑に負け、背いて死の報いを受けました。

でも、これは本当に彼らの問題なのでしょうか？ ハイであり、イイエでもあります。
ヨナがどうして怒り、神の御前から逃げたのかわかりますか？
神は民の邪悪さに忍耐しておられましたが、ヨナは、神が恵み深く憐れみ深く、怒るのに遅く慈しみで寛大であり、害を与えることをやめる方であるとわかっていました。

ヨナの問題とはなんでしょう？ 彼が律法主義だったことです。

例示
ある家族が、クリスマスにアドベント・キャンドルを食卓に並べることにしたとします。両親は息子にこう言います。「ロウソクに火をつけたらだめだよ、パパかママがやるから。 家が火事にならないようにね」

ある日、両親が出かけている間にその子は自分でロウソクに火をつけようとします。火をつけてみると、自分が親のようにうまくできたと自慢に思いました。

でも、両親に怒られると思い、ろうそくの火を消そうとしました。そして、ろうそくを手に取って息を吹きかけようとすると、ろうそくを落としてテーブルクロスに火が付きました。どうしていいかわからずパニックになって、逃げて隠れてしまいました。
しばらくすると火がカーペットに移って火災報知器が鳴りました。両親が二人ともリビングに飛び込んで叫びます。どこにいるの？ 息子はどこにいる？
スプリンクラーが作動して火は消えました。しかし、リビングはかなりの被害を受けました。

息子が家具の陰から親の元へ駆け寄ってきて、無事でした。

両親はききます。どうして助けてって呼ばなかったの？ 呼んでくれればすぐに止められたのに！
息子が答えました。怒られるのが怖くて、隠れたんだ。

それから数か月、修理工事もあって、息子は庭の見える部屋、つまりリビングでテレビを見ることもゲームをすることも許されませんでした。危ないからです。

十字架のメッセージはいつも「主の名を呼び求める者は皆、救われる」です。ヨエル 3:5 / ローマ 10:13

もう一度パウロが４－５節で言ったことを聞いてください。「キリスト・イエスにあるあなたがたの信仰と、すべての聖なる者たちに対してあなたがたが抱いている愛について、聞いたからです。その愛は、あなたがたのために天に蓄えられている希望に基づくものであり、あなたがたはすでにこの希望を、福音という真理の言葉を通して聞きました。」

アダムとエバの犯した過ちは、そう、律法を破ったことです。そして、死という罰を与えられました。
皆さんがどういう方かわかりませんが、神が死を望めばあなたは死にます。知恵の果実の最初の一口が口に触れた瞬間に、アダムとエバは死んでいたはずです。ロミオとジュリエットよりも早く。ほとんどの方は、アダムとエバを殺すのは神だと考えます。だから二人は園の中で神から隠れました。二人の本当の問題は、神は死に打ち勝つ力があることを信じなかったこと、神が、死から救ってくれると信じなかったこと、ヤハウェは殺すのではなく、救う方だと信じなかったことにあります。

言い換えれば、アダムは律法を信じたのです。恵みを信じなかったのです。なぜでしょう？
アダムは律法主義で、神も律法主義だと考えました。

しかし、神をたたえましょう、神は律法主義者なんかではありません。恵みに満ちた方です。

アダムは1000歳近くまで生きました。エバも共にいて、アベルの代わりに、油注がれた子セスを授かりました。

今、私たちにはもっと偉大なものがあります。福音です。私たちの代わりに、油注がれた子イエスを授かり、イエスを信じることで、1000年どころか永遠のいのちを得ているのです。

これが、私たちに与えられたさらなる希望です。
恵み
ただ、これは始まりにすぎません。呪いの逆転の始まりにすぎません。なぜなら、律法主義から抜け出し、恵みに頭を働かせる性質に入る必要があるからです。

日々かかわる人々へ、感謝するだけではなく寛容さも必要です。人のことを考え、好きじゃないところや感謝できないことがあった時、その人の話し方なり、言い方なり、やり方なり、メッセージの書き方なりに、一日中文句を言うことはできますが、そうではなく、寛容を見せましょう。
人に寛容を見せることで、死んだ律法主義のアダムのような振る舞いをやめるようになり、永遠に生きるイエスのように振る舞うようになるのです。
これこそが、新しい永遠のいのちを持って生きるということです。

そうすると、これまで成し遂げてきた以上の実を結ぶことになります。寛容を見せると、あなたは祝福され、主はあなたのために天の窓を開き、有り余るほどの祝福を注いでくださいます。

祈りましょう

ジェシー・マーク・セザリオ
東京バプテスト教会
12月30-31日, 2023年

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール: cc@tokyobaptist.org
もしくは: https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg5123jp

★クラス 301
自分の賜物発見クラス
1月28日（日）1:00pm – 5:00pm
参加条件: クラス 101&201 を修了した方

★クラス 401
人生の使命を発見する
2月18日（日）1:00pm – 5:00pm
参加条件: クラス 301 まで修了した TBC 教会員

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu